



## 2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年11月12日

上場会社名 コミルリンク株式会社  
 コード番号 4372 URL <https://www.ymir.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 亘  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小林 幹彦  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6820-0088

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,408		288		273		187	
2020年12月期第3四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	52.71	
2020年12月期第3四半期		

(注)1. 2020年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第3四半期の数値及び2021年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 2021年4月30日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2021年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	
2021年12月期第3四半期	1,958		1,596		81.5	
2020年12月期	1,443		1,097		76.0	

(参考)自己資本 2021年12月期第3四半期 1,596百万円 2020年12月期 1,097百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		0.00	0.00
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,750	7.4	350	8.4	324	0.5	222	0.7	60.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年4月30日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2021年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 2021年12月期(予想)の「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2021年9月21日に払込の公募増資338,200株を含めて算定しております。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	3,892,600 株	2020年12月期	3,554,400 株
期末自己株式数	2021年12月期3Q	株	2020年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	3,565,549 株	2020年12月期3Q	株

(注) 1. 当社は、2020年12月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載していません。

2. 当社は、2021年4月30日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が続きワクチン接種が一定数進んだものの、感染力の強い変異株等により経済活動は抑制されており厳しい状況が続きました。先行きにつきましては、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は引き続き「SaaS事業成長」「顧客価値向上」に向け、積極的に取組みを行いました。

当第3四半期累計期間におきましては、Cuenote FCに「フリークエンシー機能」の提供を開始しております。この機能は、画面上で「期間」「通数」を指定するだけで同一顧客（メールアドレス）へのメッセージ送信数を制御する機能で、メッセージ送信数の過多に伴うオプトアウト（購読解除）や退会を低減でき、顧客との良好な関係維持に役立ちます。

サービス提供種別の売上高の概況は以下のとおりであります。

・ストック型収益：Cuenote SaaSのサブスクリプション（サービス利用）売上並びにソフトウェア保守売上が含まれます。当第3四半期累計期間は新規受注が好調であった事にあわせ、解約が低調に推移したことからストック型収益は1,374,319千円、当第3四半期末定期契約額は162,127千円（前年同期末比22.6%増）となりました。

・スポット型収益：Cuenote SaaSの初期売上（初期利用登録、カスタマイズ、セキュリティ証明書などの取得代行）並びにソフトウェアライセンス売上（オンプレミス）が含まれます。当第3四半期累計期間の売上高はSaaSの新規受注が堅調に推移したことから、34,024千円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は、1,408,343千円、営業利益は288,799千円、経常利益は273,015千円、四半期純利益は187,953千円となりました。

なお、当社はメッセージングソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の財政状態は、前事業年度末に比べて、主に公募増資や四半期純利益の計上により純資産が499,097千円増加し、財政状態は良好な状態で推移しております。

資産、負債、純資産別の財政状態は以下のとおりです。

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べて、515,248千円増加し1,958,522千円となりました。これは主に親会社グループの運営するCMS（キャッシュ・マネジメント・システム）契約の解約による預け金の減少（現金及び預金の増加）が760,407千円生じたこと、公募増資等による現金及び預金の増加311,144千円、売掛金の増加36,011千円及び、設備投資による工具、器具及び備品が6,868千円増加したこと等によるものです。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて、16,151千円増加し362,335千円となりました。これは主に賞与引当金94,350千円の増加、賞与の支給に伴う未払費用62,568千円の減少及び納付による未払法人税等の減少12,634千円等によるものです。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて499,097千円増加し1,596,186千円となりました。これは四半期純利益の計上による利益剰余金の増加187,953千円及び公募増資に伴う資本金155,572千円、資本準備金155,572千円の増加によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、2021年9月22日公表の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」に記載のとおりであり、当該業績予想の修正はありません。

なお、当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	188,841	1,398,679
売掛金	205,088	241,099
原材料	1,741	1,162
預け金	760,407	-
その他	29,897	32,300
貸倒引当金	△188	△252
流動資産合計	1,185,788	1,672,989
固定資産		
有形固定資産		
建物	29,471	27,216
工具、器具及び備品	81,665	88,533
有形固定資産合計	111,136	115,750
無形固定資産		
	21,560	18,436
投資その他の資産		
敷金及び保証金	89,559	89,559
その他	35,228	61,785
投資その他の資産合計	124,788	151,345
固定資産合計	257,485	285,532
資産合計	1,443,273	1,958,522
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,259	13,525
未払費用	131,101	68,532
未払法人税等	78,429	65,795
賞与引当金	-	94,350
その他	111,707	112,064
流動負債合計	333,497	354,268
固定負債		
長期前受金	12,687	8,066
固定負債合計	12,687	8,066
負債合計	346,184	362,335
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	118,281	273,853
資本剰余金	35,779	191,351
利益剰余金	943,027	1,130,981
株主資本合計	1,097,089	1,596,186
純資産合計	1,097,089	1,596,186
負債純資産合計	1,443,273	1,958,522

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	1,408,343
売上原価	460,843
売上総利益	947,500
販売費及び一般管理費	658,700
営業利益	288,799
営業外収益	
受取利息	361
その他	23
営業外収益合計	385
営業外費用	
上場関連費用	16,168
営業外費用合計	16,168
経常利益	273,015
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税引前四半期純利益	273,015
法人税、住民税及び事業税	113,836
法人税等調整額	△28,774
法人税等合計	85,061
四半期純利益	187,953

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年9月22日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、2021年9月21日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による増資により払込みを受けました。

この結果、当第3四半期会計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ155,572千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が273,853千円、資本準備金が191,351千円となっております。